



さんむ
はっかく
八角

こうじ
公二

議員

小中学校の統廃合について

問 平成28年1月に、教育委員会から市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画(案)が示され、市民に向けてこのパンフレットが配布された。

今後、小中学校の統廃合はどのようなスケジュールで進めていくのか。

答 教育長 2月に計画案の説明会を6回ほど行ってきましたが、参加者が少なかつたので、より丁寧な説明を重ねていきます。実際の運営については、計画案をもとに進めていきたいと思えます。

問 この計画案には、成東中・成東東中の統合について、「統合中学校の位置を成東東中にし、成東中は閉校とす

る」とか、「山武西小と、日向小との統合小学校は、山武南中学校とする」など、当初の基本方針にはないことが盛り込まれている。いつ、どのような会議を経てこの基本計画案ができたのか。

答 教育長 協議会が平成26年4月から27年3月20日まで行われており、その中で検討して最終案としました。平成27年時点では成東中学校は存続としていましたが、その後の市長部局との協議の中で単独では建て替えが難しいということので、今回の案となりました。

問 成東中学校の校舎を建て替えてほしいという要望書が702名の署名を添えて出されている。また、オ

リンピック・パラリンピックに向けて、スリランカの選手団のために、成東運動公園の整備に4億5千273万円、その他に1億6千318万円の財政支出をする予定である。一方で、成東中学校の生徒のためには校舎を建て替える予算がない。だから東中へ行きなさいということか。

答 市長 できるだけ既存の施設を有効利用していくことを基本方針として立てていただきたいと教育委員会にお願いしました。ご理解いただきたいと思えます。

問 この前期計画だけでも、40億5千600万円以上の支出が見込まれている。それでもこの計画どおりに進めるのか。

答 市長 有効な手段があれば、財源の圧縮に努めていきます。また、成東中学校の新築ということになれば、さらに経費がかさみます。

答 教育長 基本的にこの計画を進めてい

きたいと思えます。

問 単に学校と学校の統廃合ではなく、山武市全体の枠組みの中で、まちづくりや、教育的な配慮から適正な位置への配置を考え、通学圏の見直しや、小中一貫校の新設など10年先を見越しての統廃合の計画にしないと、将来においても混乱が生じると思うがどう考えているのか。

答 市長 私としてはこの統合案についてひとつひとつ検討に加わっているわけではありませんが、成東と松尾の問題として捉えるならば、松尾中学校を残して、成東中の学区からは松尾中に通っていたたくというのが正しい選択になるかと思えます。

答 教育長 検討可能な条件の範囲では、教育委員会としては最も適切な案だと考えています。

問 駅がある市街地から学校がなくなるといことは、人口の流出に拍車をかけ、税収

の減、公共、福祉サービスの低下につながると思うがどう考えているのか。

答 教育長 小さな学校、教育環境として魅力のない学校を残すより、多少遠くても魅力の充実した学校をつくっていく方が大事だと思います。



統廃合が検討される成東中学校